

令和3年4月吉日

コロナ禍における臨床実習の実態調査 (集計結果)

公益社団法人 熊本県理学療法士協会

教育学術局 教育部 臨床実習教育班

はじめに

① 目的

コロナ禍における臨床実習教育の現状、
実習を可能とした要因を把握すること

② 方法

Googleアンケートフォームを使用し、臨床実習
に関わる施設代表者に回答を依頼した

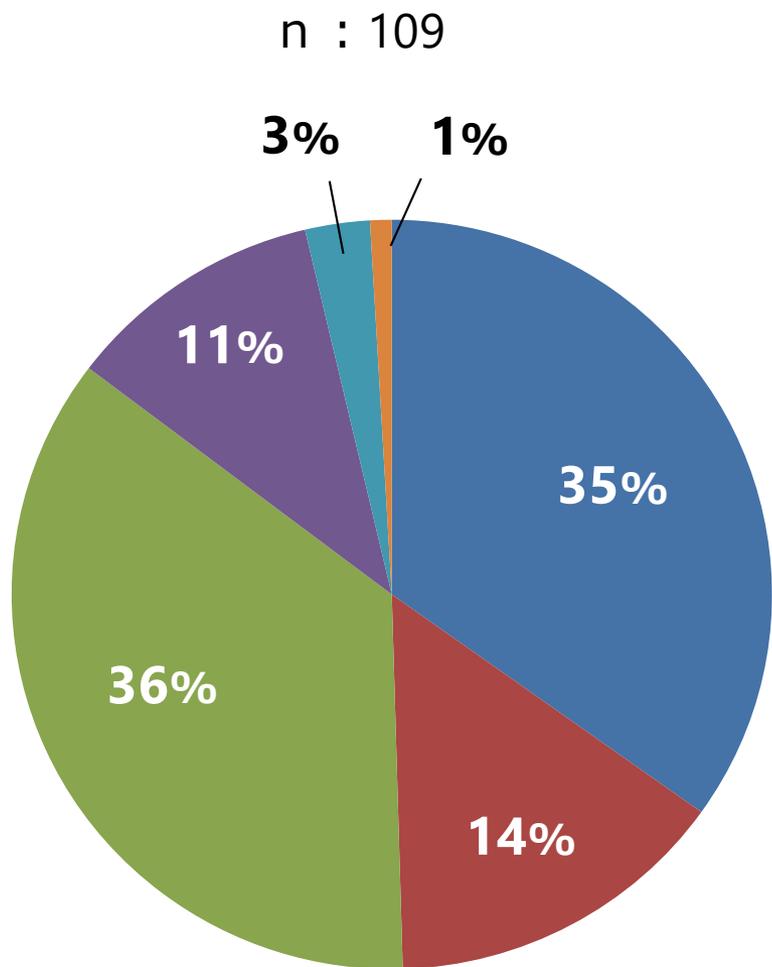
③ 期間

2021年2月8日～2月20日（13日間）

④ 回答数

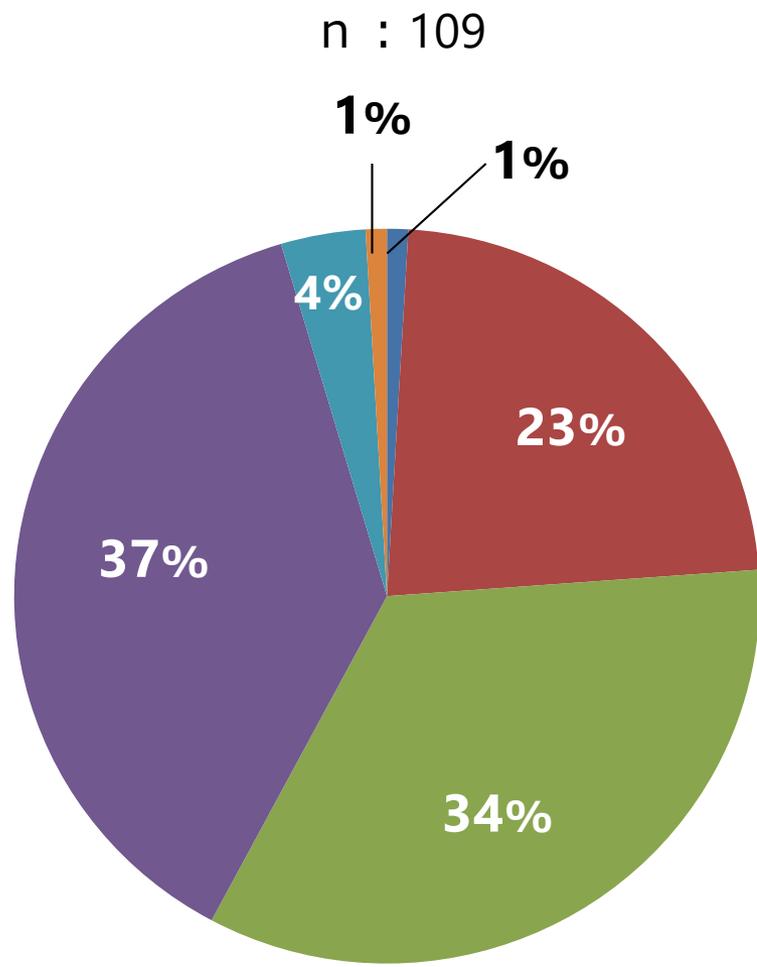
109施設

理学療法経験年数



- 20年目以上
- 15~20年目
- 10~15年目
- 7~9年目
- 4~6年目
- 1~3年目

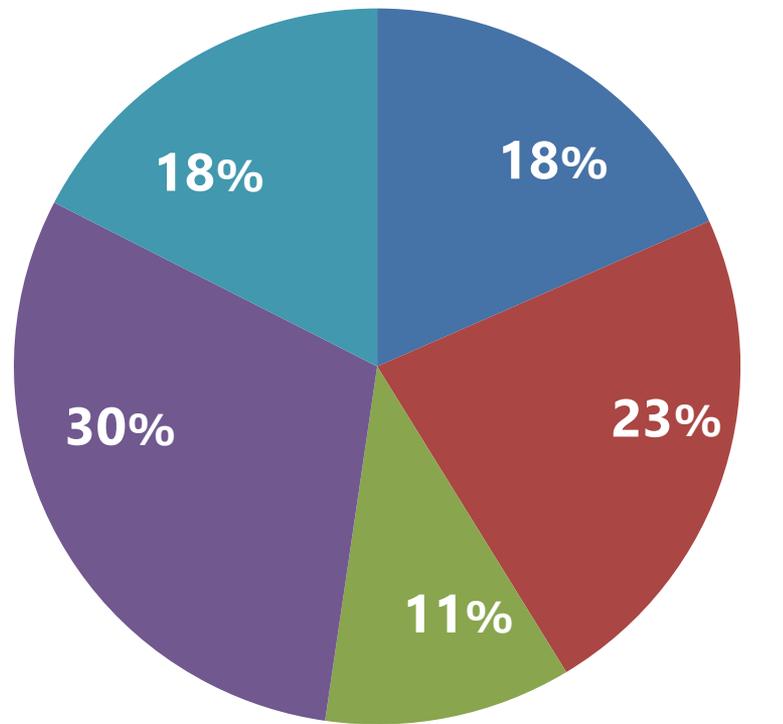
年齢



- 60代
- 50代
- 40代
- 30代
- 20代
- 無回答

臨床実習指導者 としての経験年数

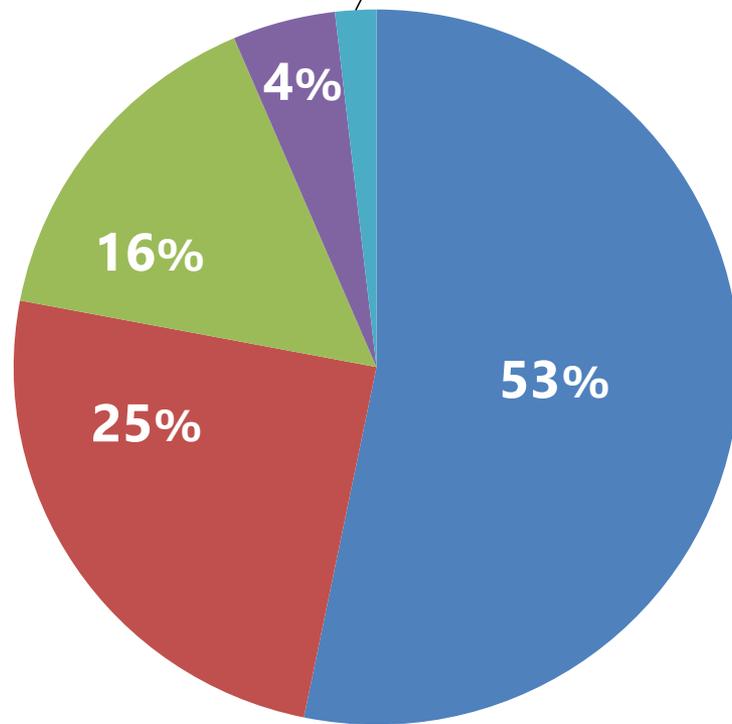
n : 109



■ 20年以上 ■ 15～20年 ■ 11～14年
■ 5～10年 ■ 1～4年

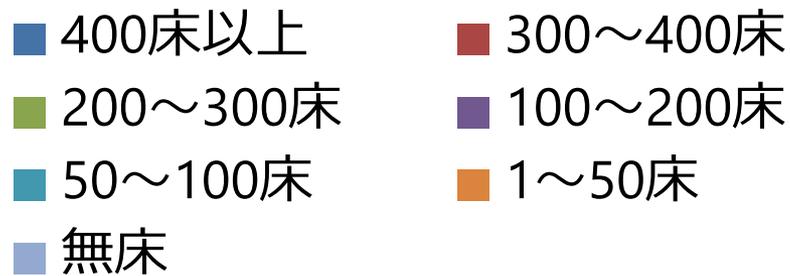
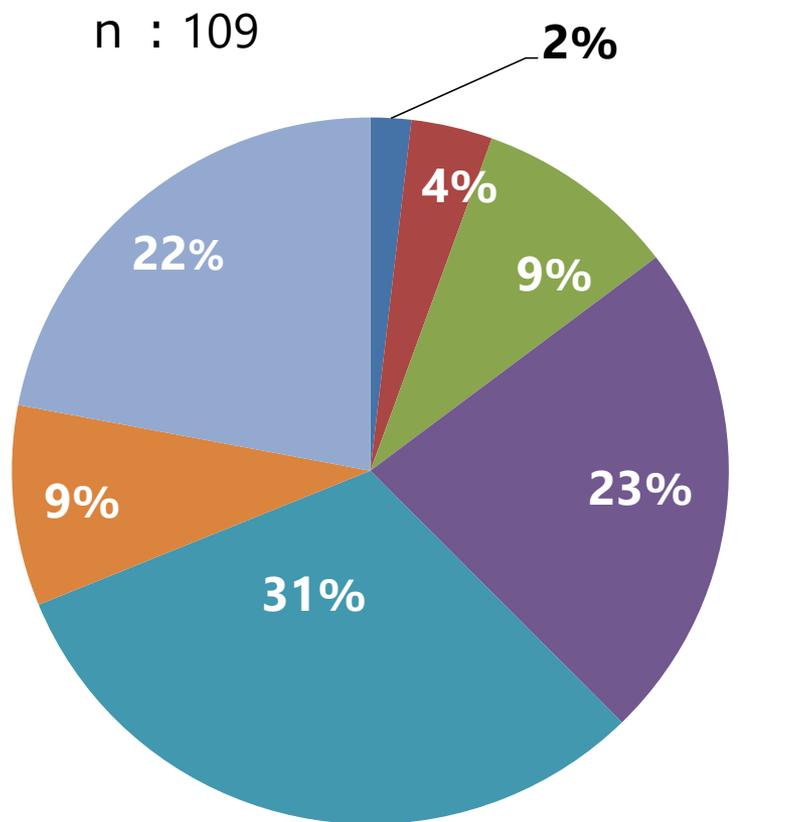
所属施設

n : 109
2%

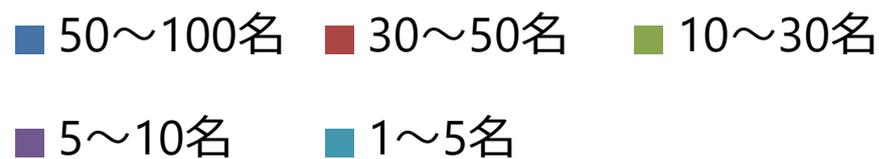
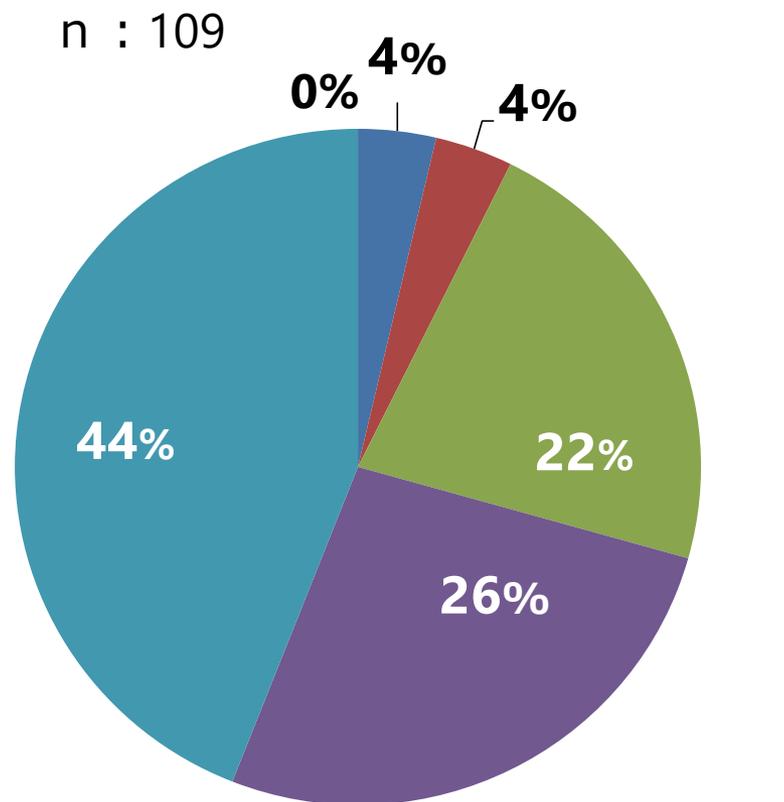


■ 病院 ■ 老健施設
■ クリニック ■ その他
■ 無回答

病床数



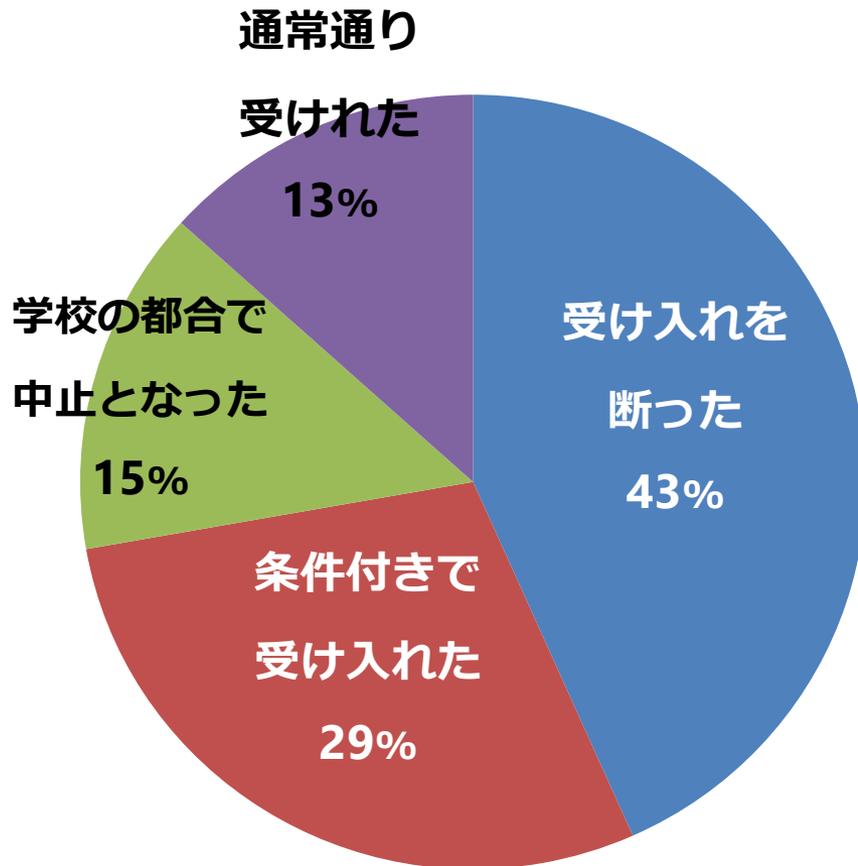
理学療法士の人数



設問1

2020年度における臨床実習の受け入れ状況

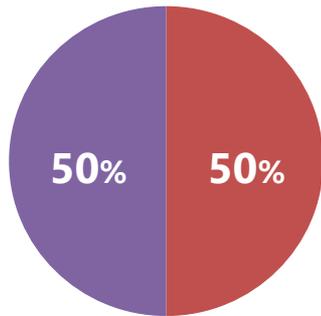
n : 109



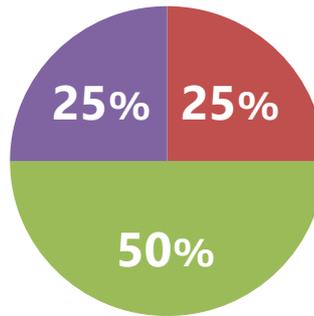
「受け入れを断った」理由	件数
・コロナ対策のため	16件
・施設・病院からの指示	13件
・人員不足	5件
・そもそも受け入れていない	4件
・その他	7件

受け入れ状況【病床数別】

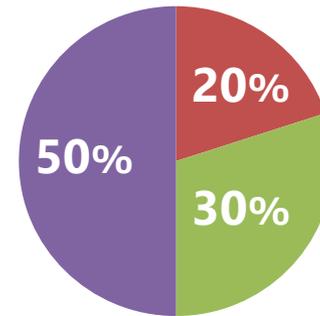
400床以上



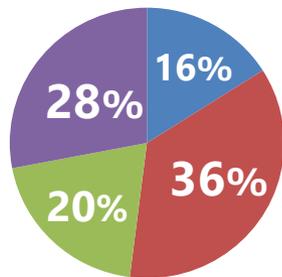
300~400床



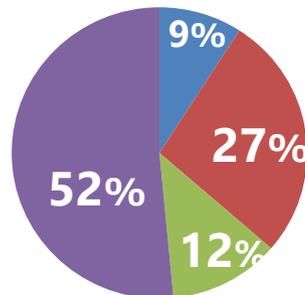
200~300床



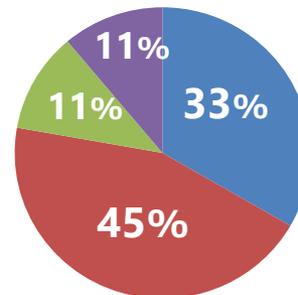
100~200床



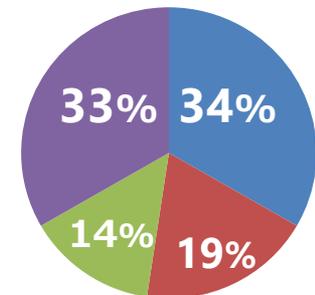
50~100床



1~50床



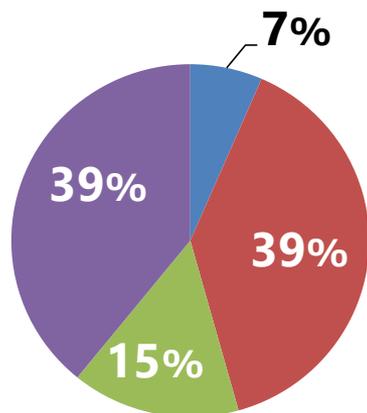
無床



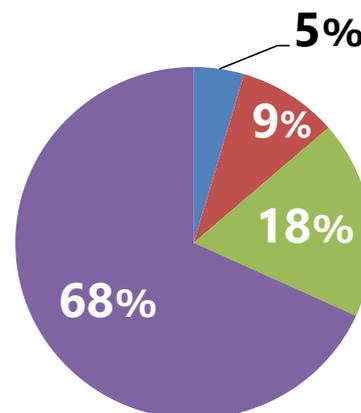
- 通常通り受け入れた
- 条件付きで受け入れた
- 学校の都合で中止となった
- 受け入れを断った

受け入れ状況【所属別】

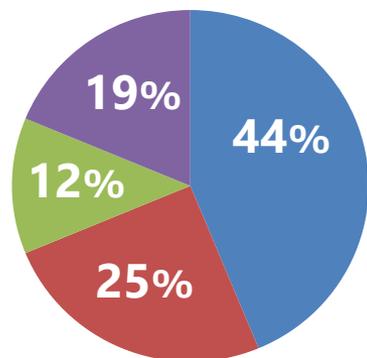
病院



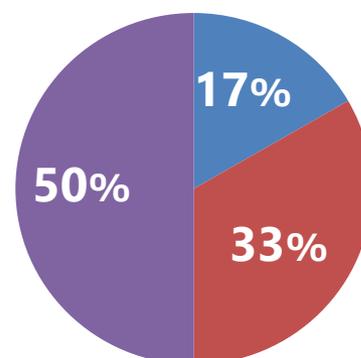
老健施設



クリニック



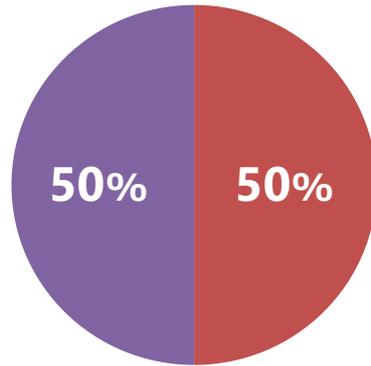
その他



- 通常通り受け入れた
- 条件付きで受け入れた
- 学校の都合で中止となった
- 受け入れを断った

受け入れ状況【PT人数別】

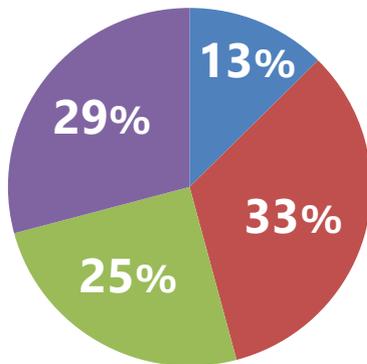
50～100名



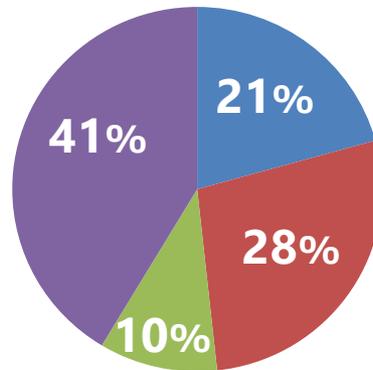
30～50名



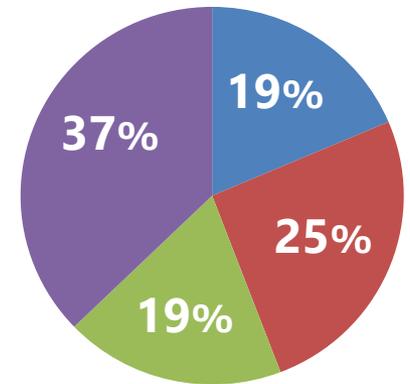
10～30名



5～10名



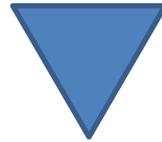
1～5名



- 通常通り受け入れた
- 条件付きで受け入れた
- 学校の都合で中止となった
- 受け入れを断った

<目的>

『コロナ禍で実習生を受け入れた施設が、
どのような感染予防対策をとっていたのかを把握する』



よって、設問1で

『**条件付きで受け入れた**』

『**通常通り受け入れた**』

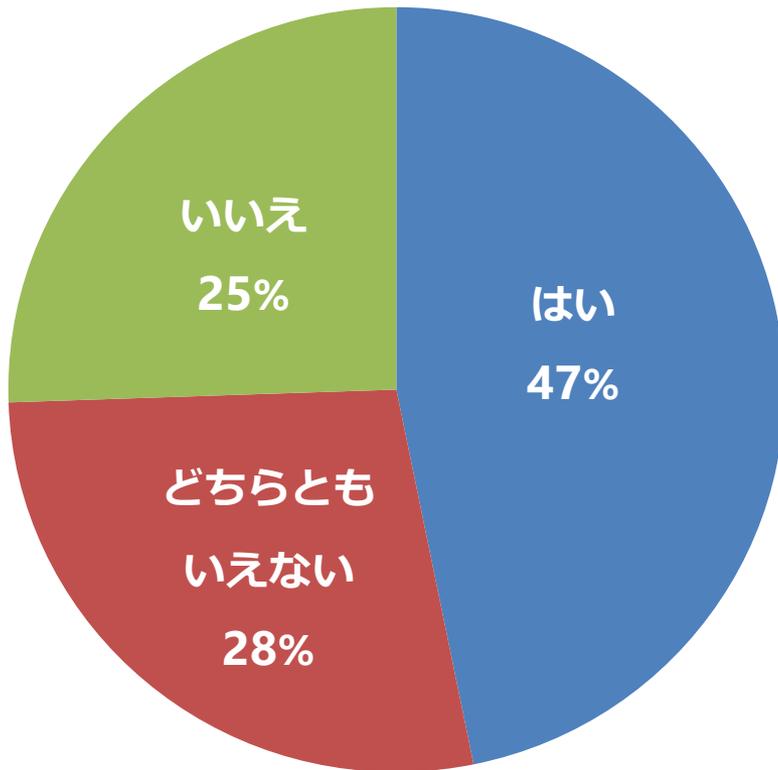
と回答した病院・施設（**計47施設**）を対象に

設問2～9のアンケート結果集計を行った

設問2

施設独自の基準（受け入れ・中止・再開など）はあるか

n : 47



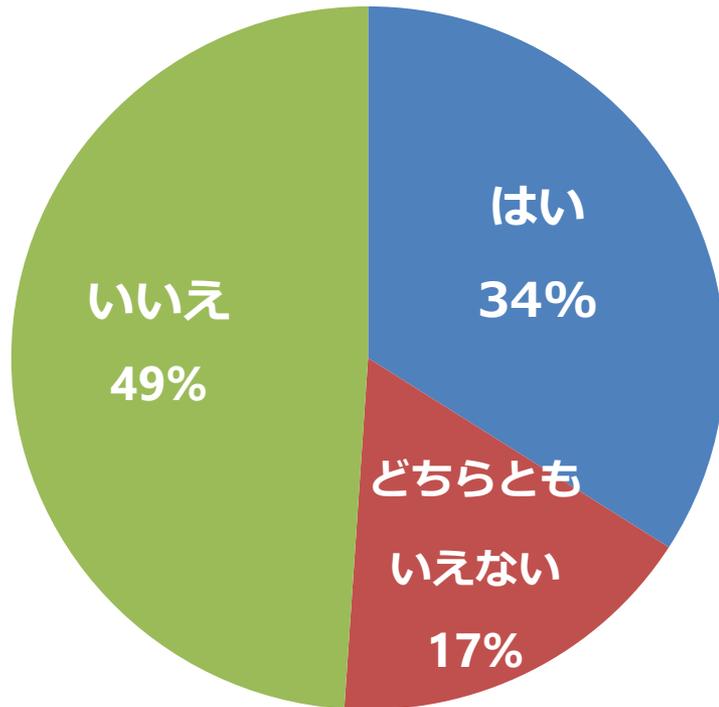
●「はい」と回答した施設の具体的な内容

施設の基準	件数
・ 行動に関すること 【行動履歴確認・外出自粛要請】	9件
・ 体調確認	7件
・ PCR検査の実施 (陰性が確認されたとき)	5件
・ 施設・病院の基準従う	4件
・ 養成校の基準・対策をみて判断	3件
・ 熊本県リスクレベルで判断	2件
・ 県内の養成校のみ	1件
・ COCOAの活用	1件
・ その他	2件

設問3

学生の臨床実習前および自習中の 行動歴などの確認(ツール)方法はあるか

n : 47



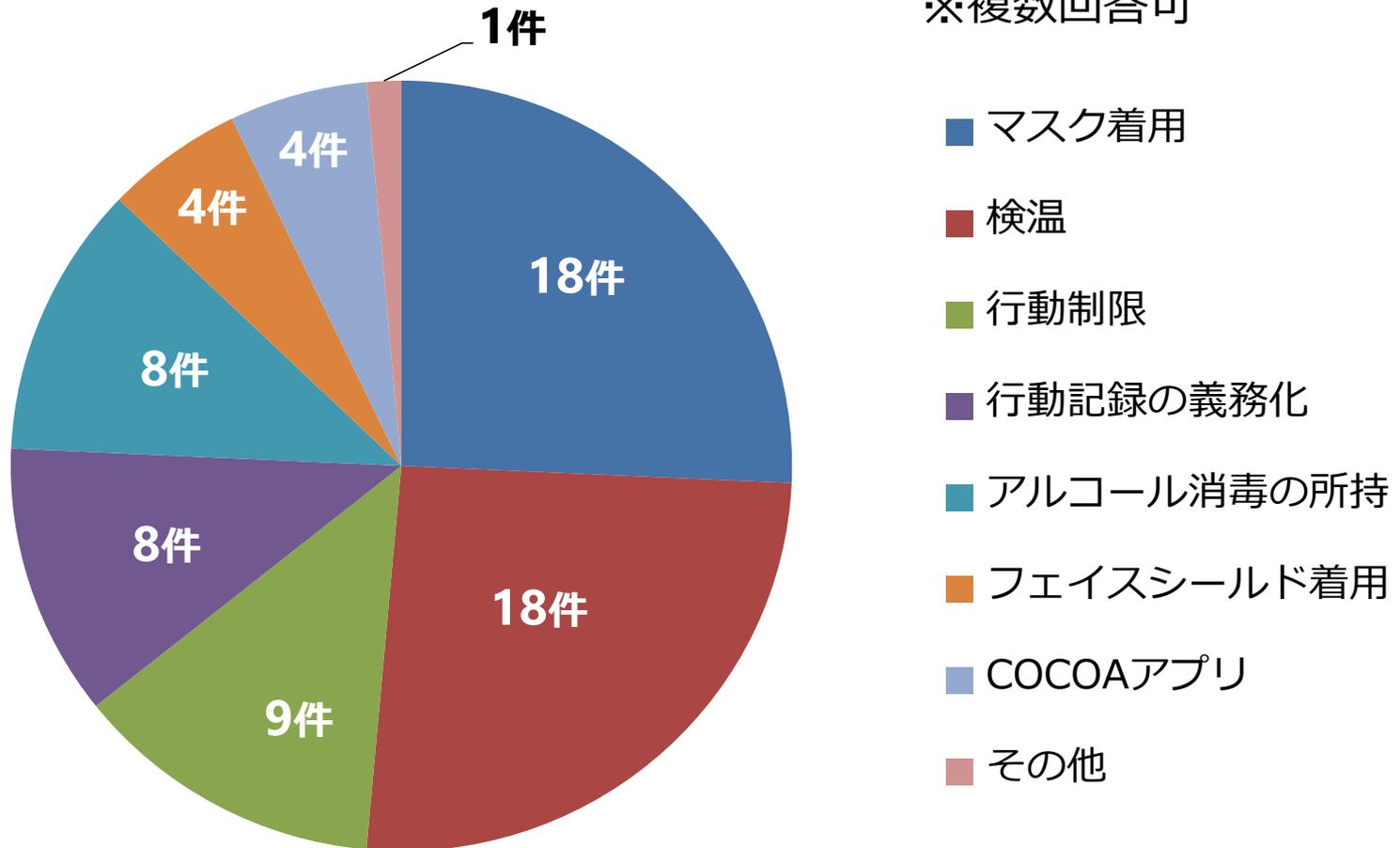
● 「はい」と回答した施設の具体的な内容

確認方法	件数
・養成校（学生）が提出する資料を確認	9件
・健康チェック	5件
・その他 Google mapのタイムラインで確認 行動制限を守っていることを前提とした	3件

設問4

学生が患者(利用者)へ対応する際、感染対策を講じたか

※複数回答可

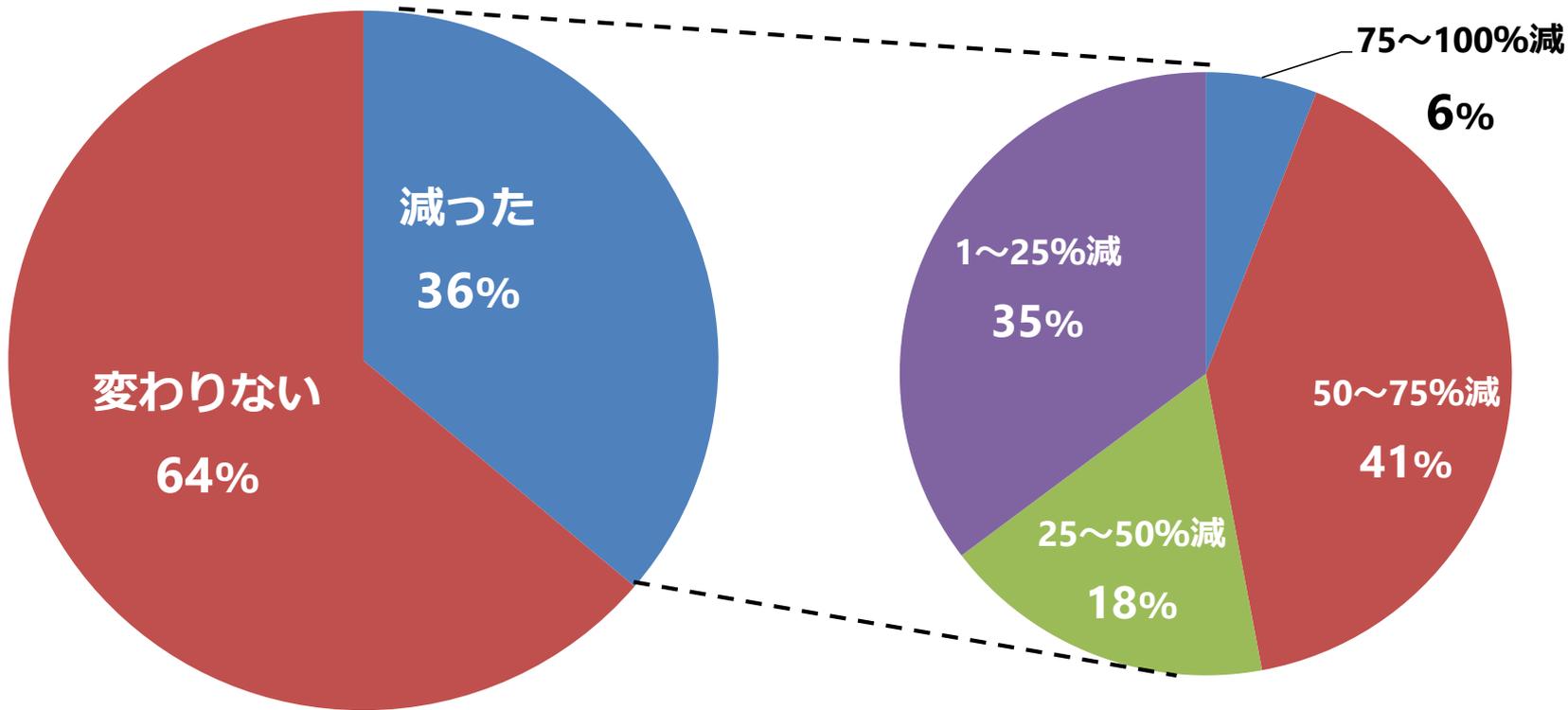


設問5

コロナ禍で学生が患者(利用者)に触れる機会に増減はあったか

n : 47

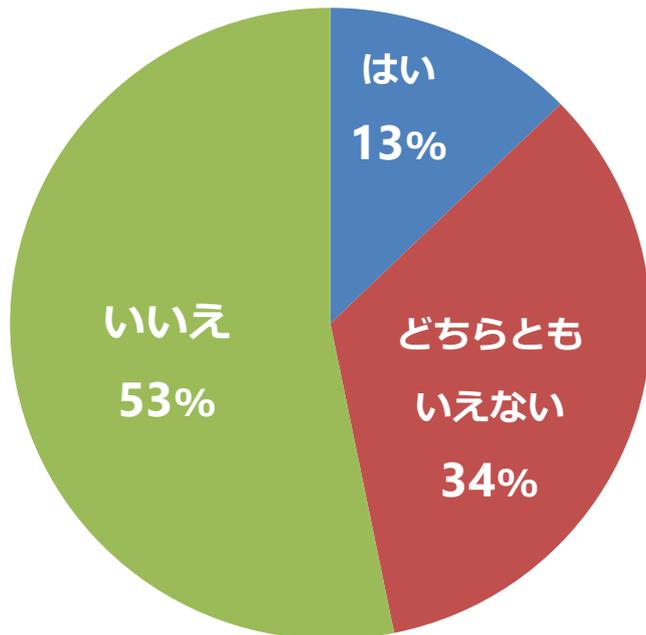
●触れる機会がどれだけ減ったか (割合)



設問6

感染対策を講じることで実習内容に問題は生じたか

n : 47

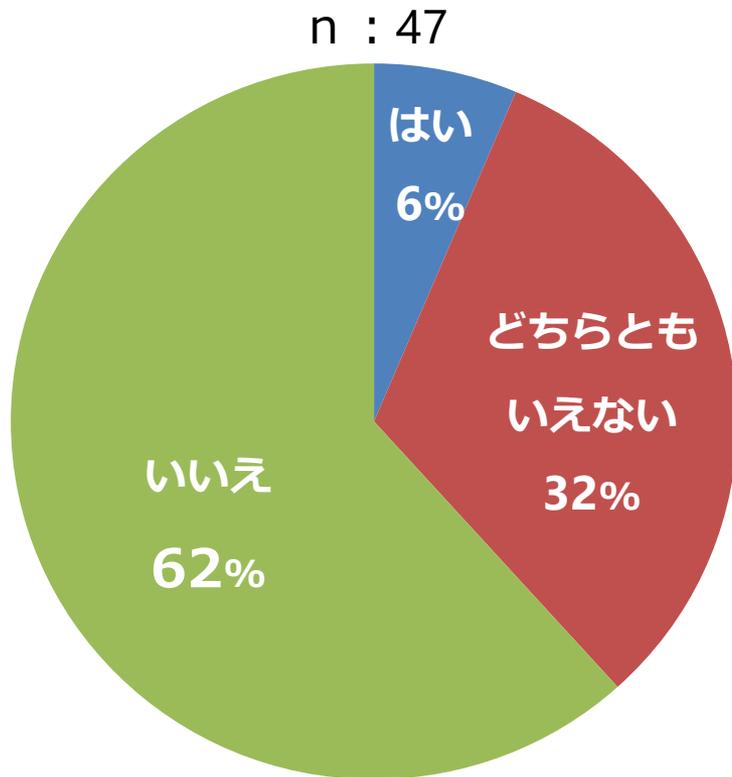


● 「はい」と回答した施設の具体的な内容

生じた問題	回答数
・家屋調査等の訪問や会議へ参加できない	3件
・病棟やフロアの移動を制限した	3件
・通勤に際して公共交通機関の利用を制限し、自家用車などの利用をお願いした	1件

設問7

コロナ禍での臨床実習に対して、 患者(利用者)から不安の声はあったか

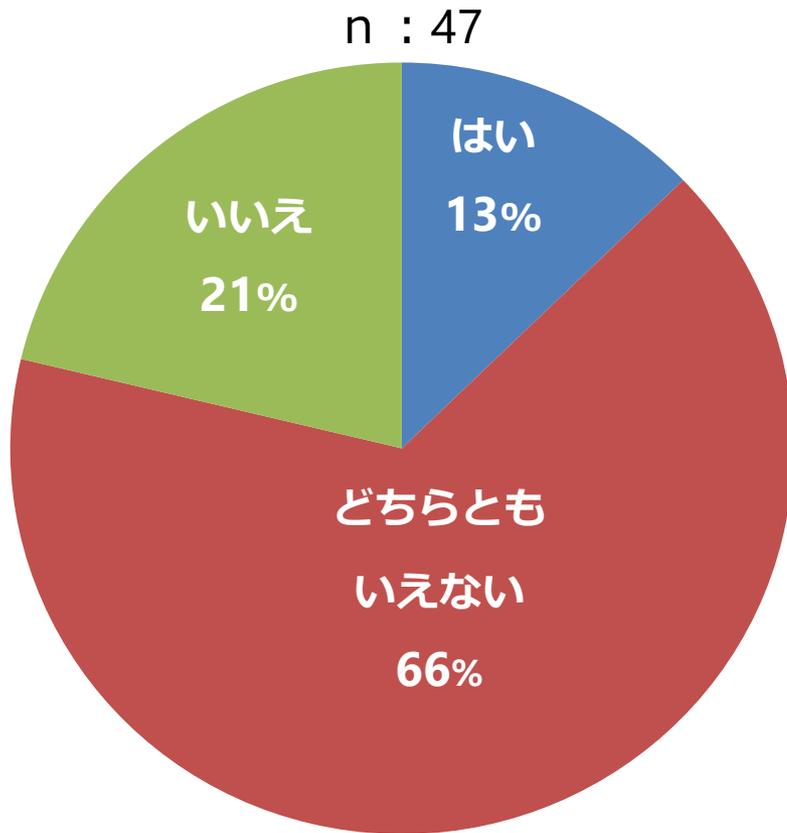


● 「はい」と回答した施設の具体的な内容

- ・ 感染不安(特に家族に多い)
説明・同意を得た方への同行配慮
- ・ 長期実習においては「毎日実習生と接するか。」といった頻度に関する不安の声は聞かれた

設問8

養成校との連携で上手くいった点はあるか

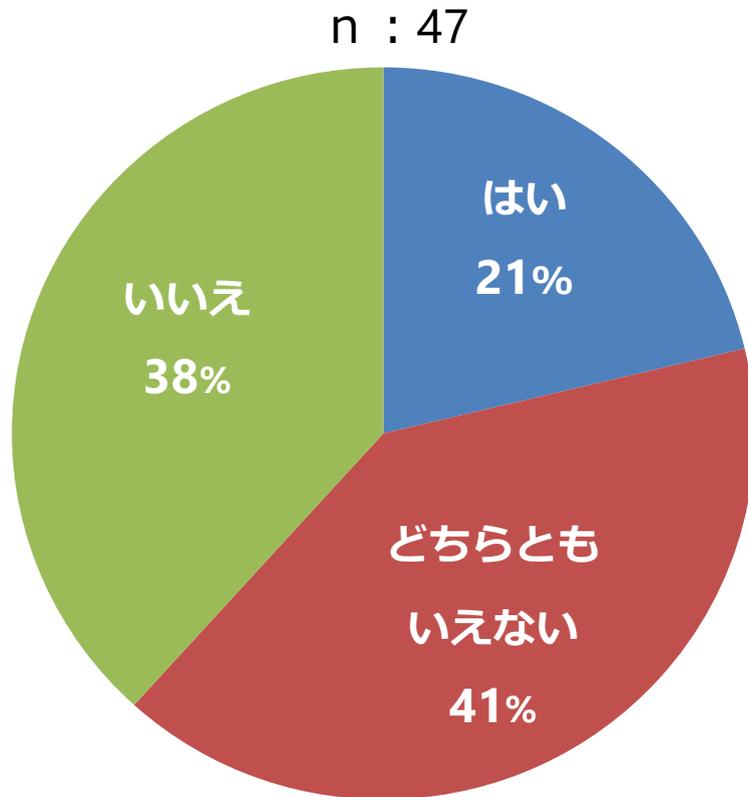


● 「はい」と回答した施設の具体的な内容

上手くいった点	
・感染対策の要項について確認できた	4件
・基本的なコロナ対策指導ができていた	1件
・実習開始時のPCR検査の費用負担や前日入りなどの要請を受け入れてもらった	1件

設問9

臨床実習受け入れにおいて、養成校との連携で課題はあるか



● 「はい」と回答した施設の具体的な内容

課題となる点	件数
・ 養成校の基準が不明確	3件
・ 養成校側の対応	1件
・ 実習中止について	1件
・ その他 ・ 問題が発生した場合の対応 ・ 行動確認がパワハラにとられないか不安だった ・ 実習前のPCR検査の有無について院内で検討した ・ 保険について	4件

アンケートからみえた コロナ禍での臨床実習の課題

- 臨床実習受け入れ基準と対策が不明確
- 感染症予防に対する認識が、各施設・養成校により異なる？



学内での感染予防の教育、補償保険の推進が必要？

- 日本理学療法士協会、熊本県理学療法士協会、
養成校、各施設との連携

今後の対策

1. 日頃のスタンダードプリコーションの徹底の必要性

実習生にも標準予防策を徹底することで実習受け入れが可能になると考えます。

※感染予防策教材URL：

http://www.japanpt.or.jp/about/enterprise/coronavirusresponseheadquarters/covid19_kansenyobou.html

2. 日本PT協会が作成したマニュアル・ムービーの周知徹底

日本PT協会では、感染予防策についてマニュアル動画を作成しています。

学生や新人教育に役立てられると考えます。

※感染予防策動画URL：<https://tez123jp.wixsite.com/website>

3. 養成校と熊本県PT協会との連携促進

コロナ渦であれ、臨床実習は将来の理学療法士を育てる臨床教育という重要な位置けであることには変わりません。施設側も養成校側も創意工夫して、いい意味での新しい「かたち」を模索していく必要があると思います。その過程で、本会の活動が橋渡しとなればと思います。

最後に

今回、コロナ禍における臨床実習の実態調査にご協力をいただき、誠にありがとうございました。109件の病院・施設よりご回答を頂き、臨床実習教育の現状を把握・分析するために十分な資料を得ることができました。

ご多用中にもかかわらず、ご協力頂いた病院・施設の先生方へ心より感謝申し上げます。